科目名 Subject	日本語総合Q General JapaneseQ		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	テキスト『中級を学ぼう　中級中期』を使用し、日本語能力試験N2レベルの学習項目を中心に学ぶ。「読む・書く・聞く・話す」の四技能の力をバランスよく総合的に学び、主体的なコミュニケーション力を養う。				
授業の目標	日本語能力試験N2レベルで要求されている表現知識を身につけ、学んだ内容を様々な場面で主体的に使うことができるようになる。				
時間外学習（予習・復習）	予習では、次回授業内容を確認し、該当する教科書部分の語彙や文型の意味を調べておくこと（30分）、復習では、学習した語彙や文型、表現の意味や使い方を確認しておくこと。教科書についているCDを使用し学習した内容をどのように使用するかも含め覚えていくこと（30分）。				
教科書・教材	教科書	中級を学ぼう　スリーエーワーク編			
	教材				
	使用設備・備品	パソコン　パソコンで文章作成をすることもあります。			
	参考文献				
評価方法	通常の学習態度や参画度（20%）、提出物（20%）、期末試験（60%）で評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	積極的に日本語を使用すること。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第一課　テーマ「色」：本文、文法表現を学習する。	「色」に関する文章内容の理解、文章中に出てきた文法表現を使うことができるようになる。	教科書の「学習項目の練習」を使って、文法の復習(30分）、CDを使用し、二課の本文の予習（30分）を行う。
第２回	第二課　テーマ「ユーモア・ジョーク」：本文、文法表現を学習する。	本文の表現を参考に、自分の国のユーモア・ジョークを日本語で書き、話すことができる。	教科書の「学習項目の練習」を使って、文法の復習をする（45分）、CDを使用し、二課の本文の予習（30分）を行う。
第３回	第三課　テーマ「制服」：本文と文法表現を学習する。	本文の表現を参考に、あるテーマにおける賛成意見、反対意見が述べられる。	教科書の「学習項目の練習」を使って、文法の復習をする（45分）、CDを使用し、四課の本文の予習（30分）を行う。
第４回	第四課　テーマ「算数と物事のプロセス」：本文と文法表現を学習する。	本文を読み。ある項目のプロセスについて話し、書けるようになる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、CDを使用し、五課の本文の予習（30分）を行う。
第５回	第五課　テーマ「遊びと運動」：本文と文法表現を学習する。	本文読解を通して、論理的な文章構造について理解できるようになる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、CDを使用し、六課の本文の予習（30分）を行う。
第６回	第六課　テーマ「古くなったお金」：本文と文法表現を学習する。	「お金」に関する文章内容の理解、文章中に出てきた文法表現が使えるようになる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、CDを使用し、七課の本文の予習（30分）を行う。
第７回	第七課（１）：テーマ「水」：本文読解の後、「むだ遣い」についてのプレゼンテーション準備を行う。	「水」に関する文章内容の理解、プレゼンテーションの方法が理解できる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、予習としてプレゼンテーションの資料選び（45分）
第８回	第七課（２）プレゼンテーションの準備　発表の原稿を書く	テーマの沿ったプレゼンテーションの原稿を、クラスメイトと協力し完成することができる。	授業で学習した語彙や表現の復習（30分）、予習として、次回のプレゼンテーションの準備をする（45分）
第９回	第七課（３）プレゼンテーション	調べたことをグループでまとめ発表することができる。	プレゼンテーションの振り返り（30分）、CDを使用し、八課の本文の予習（30分）を行う。
第１０回	第八課　テーマ「遺伝」：本文読解と文法表現を学習する。	難易度の高い文章の理解、文章中に出てきた文法表現が使えるようになる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、CDを使用し、九課の関連読み物の予習（30分）を行う。
第１１回	第九課　「関連読み物」の要約と発表	要点をまとめ発表できるようになる	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習をする（45分）、CDを使用し、十課の本文の予習（30分）を行う。
第１２回	第十課（１）「ヒトと動物」：本文読解と文法表現を学習する。	難易度の高い文章が要約し、発表することができる。	教科書の「学習項目の練習」を使って文法の復習と要約の仕方の復習（45分）、予習として、プレゼンテーションの準備（30分）
第１３回	第十課（２）ヒトと動物の聴解問題から要点の整理と発表	聴解から理解発表の原稿を作り。プレゼンテーションすることができる	プレゼンテーション方法の復習(30分）、予習として、次回の作文の題材をあつめる（30分）
第１４回	第十課（３）ヒトと動物 テーマ作文と発表	ヒトの能力である言葉をテーマに時間内で作文し、他者に向けて発表することができる。	十課全体の復習（30分）教科書全体の見直し（30分）
第１５回	総まとめと試験対策	まとめと期末試験対策を通して、期で学んだことを理解できる。	復習60分